

フレッシュマンセミナー成果報告（看護学科 1 年次）

看護学科では、1 年生 87 人が 5 月 31 日～7 月 26 日の間、フレッシュマンセミナーを行ないました。フレッシュマンセミナーは、教養演習 I に引き続き、大学で学ぶフレッシュマンとして主体的、能動的に学ぶ学習態度を身につけることをねらいにゼミごと（5～6 人）に分かれ、地域の人々の暮らしの成り立ちに関するテーマを学生自ら設定し、大学設置基盤である北部地域へ赴き、フィールドワークを通して、協働探索活動を行なうものです。

7 月 7 日（水）には、その成果をクラスごと発表し、その後ポスター掲示による全体報告会を開催しました。全体報告会では、フィールドワークにご協力いただきました地域住民の皆様、上級生、他学科教員の参加をいただきました。

全体報告会のあと、学生一人ひとりによる凝縮ポートフォリオの作成と発表を行ないました。凝縮ポートフォリオは、ゼミごとに行なったフィールドワークで明らかになった地域の課題に対して、その解決策を具体的に提案するものです。ゼミ活動では表現しきれなかった、学生個人の考えや思いが具体的な提案として表現されます。初めての発表で、はじめは緊張していた学生たちも、たがいに意見交換をし、学びを深めました。ポスターの説明をするいきいきとした顔や鋭い質問に懸命に答えている学生の姿が印象に残りました。

この発表会や全体報告会の企画・運営はすべて学生が行いました。今回、フレッシュマンセミナーで感じたこと、学んだことを大切にして大学生活を送ってほしいと思います。

総評：看護学科 1 年次担当 松下 聖子（看護学科 講師）
高津三枝子（看護学科 助教）
石川 幸代（看護学科 准教授）
名城 一枝（看護学科 助手）



クラス別に分かれて発表を行う



全体報告会の後、エリア別に分かれポスターを展示